

ポイント 2次関数のグラフのかき方

① a の符号で、下に凸か、上に凸か判断する。



② 軸と頂点を求め、頂点を座標平面上にとる。



③ 頂点以外の通るもう1点を計算し、
座標平面上にとる。

※ 頂点が y 軸上にない場合

… $x = 0$ のときの y 軸との交点



④ 頂点ともう1点を通るように、
軸に関して左右対称になめらかにかく。

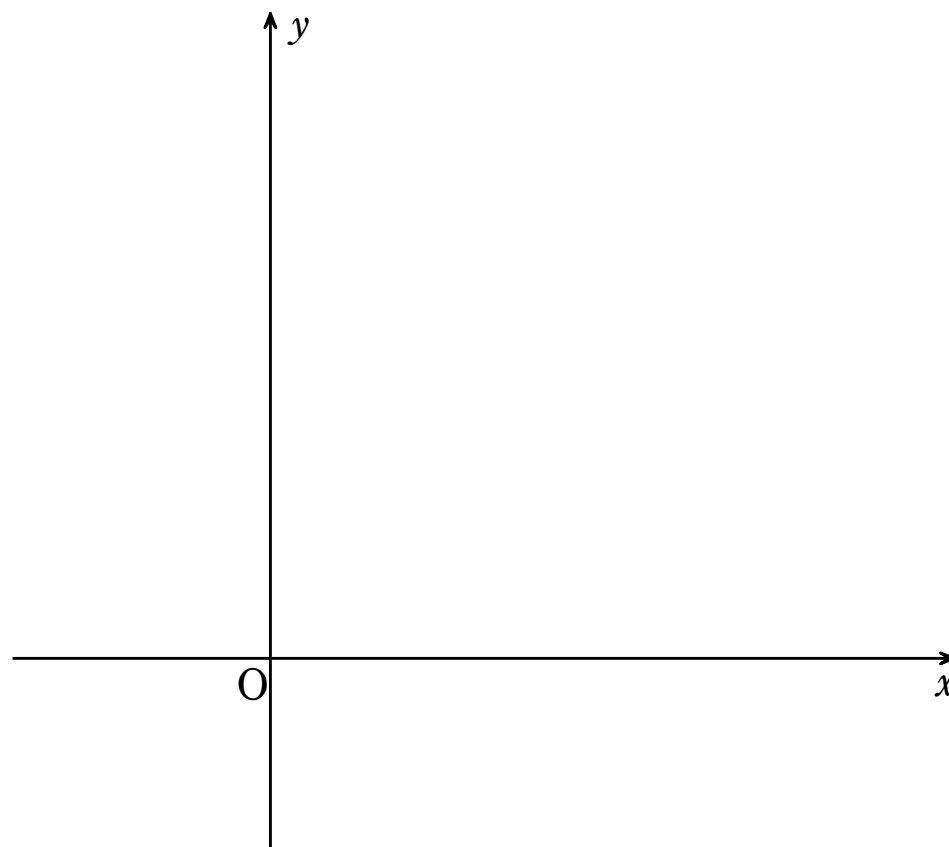
41 【 $y = a(x - p)^2 + q$ のグラフのかき方 】 2/3 ページ

例題 次の2次関数の以下のものを求め、そのグラフをかけ。

ただし、 $x = 0$ のときの y の値をグラフ内に書き込むこと。

(1) $y = 2(x - 2)^2 + 1$ (に凸)

軸：
頂点：
$x = 0$ のとき
$y = 2(\quad - 2)^2$
=
=
(0 ,) を通る



41 【 $y = a(x - p)^2$ のグラフのかき方 】 3/3 ページ

(2) $y = -(x + 3)^2 + 6 = -\{x - (\quad)\}^2 + 6$ (\quad に凸)

軸 :
頂点 :
$x = 0$ のとき
$y =$
$=$
$=$
(0, \quad) を通る

